

みさきの Style

～ みんながさんかくきっちりのびる

こどもとつむぐ みさきの教育

文責：村田典子

R5年9月1日号



前期後半始まる…

38日間(土日、祝日含む)の長い夏休みが終わりました。「あっ」という間でした。何かにチャレンジしたり、出かけたり…コロナが五類になって初めての長期休業ですから、4年ぶりの懐かしい再会、というお話も聞きます。

子供たちそれぞれの思い出もあることでしょう。

さて、夏休み明けると前期後半。前期の残りは、10月6日(金)までの29日間です。子供たちには、

- ①心を鍛えよう(挨拶のレベルアップ・トイレのスリッパ)
- ②目標でレベルアップ(自分でやる気スイッチオン)

というお話をしました。

前期の大事な締めくくりをしてほしいです。

「みさきのスタンダード P」

…という複数情報を1枚にまとめたものを作成しています。8月31日放課後、企画委員会の有志8名を中心に、学校運営協議会の清原さん、松永さんとPTA役員の井崎会長、早田副会長、本校卒業生の清原あやせさんにも参加いただき、プロジェクト会議を開きました。

2グループに分かれた協議では、活発な意見交換がなされました。子供たちもしっかり意見発表していました。参加者のコメントです。

◎山下涼歌さん：地域や保護者の方の意見は私たちが考えられなかったことばかりで、参考になりました。

◎井崎PTA会長：初めての活動で、親としてとても勉強になりました。様々な目線からの意見でした。PTAとして全体に落とし、いろいろな意見等を吸い上げていきたいです。



子供とこんな会話をしました

みさきの目安箱

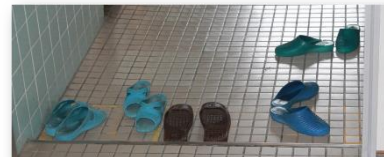
子供たちが、日常の気づきや悩み等をタブレットで伝えるシステムを作りました。

本校HPに、子供たちが気軽に相談できる「せんせいあのね」というコーナーを設けていましたが、活用が今ひとつだったので、新たな策を打ちました。

これは、子供たちが持っているタブレットで入力することができます。いろんな事を安心して、遠慮なく、いつでも伝えられるツールとして、大いに活用して欲しいと思っています。

踊るスリッパたち…トイレのスリッパがそろいません(^^;)

ずっとずっと言い続けているのですが、なかなか。残念ながら、スリッパが並ばないトイレの方が多いです。自分が使うときを想像しながら、相手意識をもつとちゃんと並ぶはずなのに…。



前期後半の集会では、このこともお話ししました。そして、長野県円福寺の藤本幸邦住職(2009年没)の「はきものの詩」を紹介しました。トイレのスリッパ、靴箱の靴もそうですが、子供たちの心が表れるものです。根気強く、指導していきます。

はきものの詩

はきものをそろえると 心もそろろう
心がそろとう はきものがそろろう
はくときに 心がみだれない
だれかが みだしておいたら
だまってそろえてあげよう
そうすれば きっと
世の中の人の心もそろうでしょう

- ◎ 「校長先生、今日、僕誕生日です。」
- 私 「おめでとう。いくつになった？」
- ◎ 「12歳です！」
- 私 「若いねえ。私のトシを30あげようか。」
- ◎ 「いいです。」 …丁重に断られました(笑)

【タイトル写真：3年1組 前期後半スタート】